(日本縦断講演会　漢字文化を考える(北海道新聞-1990.05.31
広告のページ

(第3種郵便物認可)

日本縦断講演会

漢字文化を考える

海外旅行でも、中国や韓国などは、漢字の看板があって身近に感じた、という人は少なくないだろう。この漢字を通して世界を見てみようという日本縦断講演会「漢字文化を考える」(大修館書店主催、北海道新聞社後援)が五月十七日、札幌・道新ホールで開かれた。同講演会は同書店の月刊誌「しにか」創刊、「大漢和辞典」全十三巻、別巻・語彙索引の完結を記念し、全国六都市で行われているもので、札幌では東京外大の中嶋嶺雄、国際日本文化研究センターの中西進両教授が講演した。その要旨を紹介しよう。

漢字の持つ意味と文化のかかわりについて、約700人が熱心に耳を傾けた「漢字文化を考える」講演会＝札幌・道新ホール

東京外国語大学教授

中嶋　嶺雄氏

東アジアの近代化と漢字文化
――地域研究の立場から

去年の今ごろ、中国の天安門広場は大変な状況でした。三十年ぶりの中ソ首脳会談の際記念式典もできず、六月四日の天安門事件に至りました。

天安門事件それ自体は、大変な悲劇です。しかしそれを代償にして、東欧はじめ世界の大きな変化が起きたと言ってもいいでしょう。

ちょうど、今年の五・四運動記念日に北京を訪れましたが、天安門広場では少しでも不穏な動きがあれば取り締まる、厳重な警戒態勢を見て驚きました。

果たして中国はこの体制の中で近代化できるのでしょうか。今のままでは無理かもしれませんが、昨年の事件で知識人や学生の目覚めは本格的と言え、世界の地殻変動がいずれは中国にもインパクトを与えるでしょう。

一方、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）はどうでしょう。今年ピョンヤンを見た限りでは、他の社会主義国とちょっと事情が違いました。表面きはマルクスレーニン主義を唱えながら、儒教が大切だと明言したのには驚きましたが、同時に強固な体制の基礎はそれなのかと、納得もしました。

もう一つ、ハングルは民族の文化だと言いながらも、漢字を重視する姿勢のようです。表意文字が入ることは、漢字圏の国々とのコミュニケーションにとれだけ役立つか分かりません。また、史的唯物論としてのマルクス主義とは違った、別の方向が見えてくる可能性もあるかもしれません。

漢字による教育は、実は人間の能力開発、特に勤勉さを高めるのに役立つのです。NIES（新興工業国・地域）の経済発展と勤勉さは、欧米の注目するところですが、それは漢字文化圏であることにカギがあります。漢字のありがたみを忘れているわれわれ日本人は、もう一度考える必要があります。

近代化がひとたび植につしたとも言われる実力者、黄長燁氏と会談して痛感したのは、独裁体制でありながら、儒教文化による国づくりをしているということです。彼は「最近の若者は儒教を知らなくて困る」とん。

逆に中国は、文化大革命のころから、漢字の簡易化を進めました。最近は停滞しているようですが、そのツケは必ず表れるでしょう。

例えば、儒は仏。これでは儒教思想もありがたくない感じ。家は犬。徳は文字の一部分を取って心。酒は汎、これじゃなんだかまずそうです。

漢字の簡略化は、字を覚えてもらうのが目的です。でも中国の識字率は七〇％程度で、あまり役には立ちませんでした。漢字をよりやさしくしたからといって、知識水準が上がるとは限りません。

漢字の持つ意味と文化のかかわりについて、約700人が熱心に耳を傾けた「漢字文化を考える」講演会＝札幌・道新ホール

東京の知識人や学生の目覚めは本格的と言え、世界の地殻変動がいずれは中国にもインパクトを与えるでしょう。

一方、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）はどうでしょう。今年ピョンヤンを見た限りでは、他の社会主義国とちょっと事情が違いました。表面きはマルクスレーニン主義を唱えながら、儒教が大切だと明言したのには驚きましたが、同時に強固な体制の基礎はそれなのかと、納得もしました。

もう一つ、ハングルは民族の文化だと言いながらも、漢字を重視する姿勢のようです。表意文字が入ることは、漢字圏の国々とのコミュニケーションにとれだけ役立つか分かりません。また、史的唯物論としてのマルクス主義とは違った、別の方向が見えてくる可能性もあるかもしれません。

漢字による教育は、実は人間の能力開発、特に勤勉さを高めるのに役立つのです。NIES（新興工業国・地域）の経済発展と勤勉さは、欧米の注目するところですが、それは漢字文化圏であることにカギがあります。漢字のありがたみを忘れているわれわれ日本人は、もう一度考える必要があります。

近代化がひとたび植につしたとも言われる実力者、黄長燁氏と会談して痛感したのは、独裁体制でありながら、儒教文化による国づくりをしているということです。彼は「最近の若者は儒教を知らなくて困る」とん。

逆に中国は、文化大革命のころから、漢字の簡易化を進めました。最近は停滞しているようですが、そのツケは必ず表れるでしょう。

例えば、儒は仏。これでは儒教思想もありがたくない感じ。家は犬。徳は文字の一部分を取って心。酒は汎、これじゃなんだかまずそうです。

漢字の簡略化は、字を覚えてもらうのが目的です。でも中国の識字率は七〇％程度で、あまり役には立ちませんでした。漢字をよりやさしくしたからといって、知識水準が上がるとは限り